

7日 月曜

ホセア

5:1 「祭司たちよ、これを聞け。イスラエルの家よ、心せよ。王の家よ、耳を傾けよ。あなたがたにさばきが下る。あなたがたはミツパで罨となり、タボルの上に張られた網となったからだ。

5:2 曲がった者たちは殺戮を極めた。しかし、わたしは彼らすべてを懲らしめる。

5:3 わたしはエフライムをよく知っている。イスラエルはわたしに隠されていない。今や、エフライムよ、あなたは姦淫をし、イスラエルは汚れてしまった。

5:4 彼らは、自分の悪行を捨てて自分の神に帰ろうとしない。姦淫の霊が彼らのうちにあり、彼らが【主】を知らないからだ。

5:5 イスラエルの高慢はその顔に表れている。イスラエルとエフライムは、自分の不義につまずき、ユダも彼らとともにつまずく。

5:6 彼らは羊の群れ、牛の群れを連れて行き、【主】を尋ね求めるが、見つけることはない。主が彼らから離れ去ったのだ。

5:7 彼らは【主】を裏切り、他国人の子を生んだ。今や、新月の祭りが彼らとその地所を食い尽くす。

5:8 ギブアで角笛を、ラマでラッパを吹き鳴らせ。ベテ・アベンでときの声をあげよ。ベニヤミンよ、うしろを警戒せよ。

5:9 エフライムは懲らしめの日に、恐怖のもととなる。わたしはイスラエルの諸部族に、確かに起こることを知らせる。

5:10 ユダの首長たちは、地境を移す者ようになった。わたしは彼らの上に激しい怒りを水のように注ぐ。

5:11 エフライムは虐げられ、さばかれて打ち



砕かれる。彼が自ら進んで人の決め事に従って歩んだからだ。

5:12 わたしはエフライムにはシミのようになり、ユダの家には腐れのようになる。

5:13 エフライムは自分の病を見た。ユダは自分の腫れものを。エフライムはアッシリアに行き、大王に人を遣わした。しかし、彼はあなたがたを癒やすことができず、あなたがたの腫れものも治せない。

5:14 わたしが、エフライムには獅子のようになり、ユダの家には若い獅子のようになるからだ。わたし、このわたしが引き裂いて歩き、さらって行くが、助け出す者はだれもない。

5:15 わたしは自分のところに戻っていよう。彼らが罰を受け、わたしの顔を慕い求めるまで。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求める。」

民が罪を犯すようすが細かく書かれています。祭司のような霊的指導者が、「罨と」なることがあります。クリスチャンは万民祭司として、誰もが主と交わることができ、また民に主を伝える役割を持っています。わなとならないで、むしろ祝福となりましょう。

「自分の不義につまずき」とあります。自分の不義は主に悔い改めればよいのですが、それをしないのは「高慢」のせいです。謙遜になりましょう。

ギブアやベテ・アベンは堅固な町のはずでしたが、そこまでもが戦いの地になってしまいます。自分は安心だと、たかをくくって罪を犯さないようにしましょう。

「わたしは…しみのように…若い獅子のようになる」とあります。主に従わない者に対しては、主は敵のように感じるものです。主に対して従順

となって、主を愛ある存在として感じられるようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

